

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 4 月 9 日 (2020.4.9)

【公開番号】特開 2020-28611 (P2020-28611A)

【公開日】令和 2 年 2 月 27 日 (2020.2.27)

【年通号数】公開・登録公報 2020-008

【出願番号】特願 2018-157254 (P2018-157254)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 2 月 10 日 (2020.2.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、  
前記有利状態に制御される確率に関する設定値を設定可能な設定手段と、  
前記設定手段によって設定された設定値にもとづいて前記有利状態に関する制御を実行可能な遊技制御手段と、  
遊技によって付与された遊技価値に関する所定情報を表示可能な所定情報表示手段と、  
を備え、  
前記遊技制御手段により制御され、少なくとも可変表示を行うことが可能な可変表示部を含む情報表示部を有し、  
特定条件が成立したときに前記設定手段による設定値の設定を行うことが可能な設定状態に移行し、  
前記特定条件が成立したときに所定のエラーが発生した場合は、該所定のエラーが発生したことを特定可能な表示を前記情報表示部において行うことが可能であり、  
前記所定情報表示手段は、  
前記設定状態でないときに、複数種類の期間において付与された遊技価値に関する所定情報を表示可能であり、  
前記設定状態であるときに、前記設定手段によって設定されている設定値を特定可能な設定値情報を表示可能である、  
ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

手段 1 の遊技機は、  
可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態（例えば、大当たり遊技状態）に制御可能な遊技機（例えば、パチンコ遊技機 1）であって、  
前記有利状態に制御される確率に関する（例えば、設定値としての 1 ～ 6）を設定可能

な設定手段（例えば、CPU 103が図9 - 22に示す設定値変更処理を実行する部分）と、

前記設定手段によって設定された設定値にもとづいて前記有利状態に関する制御を実行可能な遊技制御手段（例えば、CPU 103が特別図柄プロセス処理を実行する部分）と

、  
遊技によって付与された遊技価値に関する所定情報を表示可能な所定情報表示手段と、  
を備え、

前記遊技制御手段により制御され、少なくとも可変表示を行うことが可能な可変表示部（例えば、第1特別図柄表示装置207SG004Aと第2特別図柄表示装置207SG004B）を含む情報表示部（例えば、遊技情報表示部207SG200）を有し、

特定条件が成立したとき（例えば、図9 - 20に示すように、パチンコ遊技機1の起動時にクリアスイッチ、錠スイッチ207SG051、開放センサ207SG090がそれぞれONであるとき）に前記設定手段による設定値の設定を行うことが可能な設定状態（例えば、CPU 103が図9 - 22に示す設定値変更処理を実行中である状態）に移行し

、  
前記特定条件が成立したときに所定のエラーが発生した場合は、該所定のエラーが発生したことを特定可能な表示を前記情報表示部において行うことが可能であり（例えば、図9 - 27（B）に示すように、設定値以上エラーが発生した場合は、第1特別図柄表示装置207SG004Aと第2特別図柄表示装置207SG004Bとを構成する全セグメントを点滅させる部分）、

前記所定情報表示手段は、

前記設定状態でないときに、複数種類の期間において付与された遊技価値に関する所定情報を表示可能であり、

前記設定状態であるときに、前記設定手段によって設定されている設定値を特定可能な設定値情報を表示可能である、

ことを特徴としている。

この特徴によれば、遊技機において重要な表示となる可変表示が実行される情報表示部において、特定条件が成立しても所定のエラーが発生したことが表示により報知されるので、特定条件が成立したときに所定のエラーが発生したことの報知を好適に行うことができる。